

# 教科でも進めよう！キャリア教育

## キャリア教育のねらいと関連する主な内容(活動例)

### 各教科におけるキャリア教育の意義は？

子どもたちの日常の学習態度や生活態度は、自分の進路や将来設計に関心・意欲を持つことによって、大きな影響を受けます。なぜ勉強しなくてはいけないのか、今の学習が将来どのように役立つのかということなどについての発見や自覚が、日ごろの学習に対する姿勢の改善につながり、そのことが更なる新たな発見やより深い自覚に結びついていくことで、学習意欲の向上が期待されます。

教科でできる  
キャリア教育って  
なんだろう？



### 先進校の取組事例

東京都墨田区立寺島中学校では、毎年すべての新生入生とその保護者を対象に、小冊子「各教科学習の意義」を配付しています。本冊子では、教科ごとの学習の意義について、「中学生時代において役立つこと」「将来・職業において役立つこと」に分け、それぞれの先生方の真摯な思いとともに解説されています。ここでは、そのほんの一部を紹介しましょう。

#### 例) 理科：将来・職業において役立つこと

技術者や研究者、製造業に直接携わる人にとっては、科学の知識が不可欠なものであることは当然です。  
それ以外の部分、例えば、環境を考える場合も「なぜ、そうしなければならないか」を考え、判断するためにも、理科で養われる理論を積み上げていく方法や知識が役に立つはず。そして、科学が高度に発展した社会では、科学的な知識がそれなりにないと新聞やテレビのニュースも理解できない、そんなことも出てきます。そうすると経済や政治にかかわることがよくなる、ということになりかねません。民主主義社会である我が国の国民がこれでは政治に参加することも出来ず、世の中の大きな流れに流されていくだけになってしまいます。  
最後に一つ。勉強は、勉強した人間しか役立たせることはできないものです。だから、理科が役に立つのかと問う人へ！  
「しっかり勉強した人は必ず役に立ちます。  
逆に、しっかり勉強していない人は、自然に身に付いた理科の知識が、あるところで役に立っている、それにも気付かない。」

#### 例) 英語：将来・職業において役立つこと

「先生、俺はね、英語なんて勉強しなくていいんだ。外国なんて行かないし、別に英語を使う仕事はないつもりだし。」そんなことを言う人がいます。  
私は次のように説明します。  
①現在、英語の知識や運用能力が必要不可欠な仕事は非常に多いから選択肢が広がること。  
②英語と全く無縁のように見える職業でも、実は英語力があると役に立つことが多いこと。  
③国際化はこれからも進んでいくので、現在は英語が必要ない職業でも、今後状況が変わる可能性があること。  
そしてもう一言。  
「仕事の上で全く英語を使わないとしても、英語が使える方が人生をより豊かに生きることが出来るんだよ。私は国語、音楽、英語は好きだったけど、美術や数学は苦手だった。苦手を克服してれば、今いろんなことができるのよと後悔することが多い。9教科どれからも逃げずに学ぶ人はもっと楽しくて、もっと豊かな人生を送ることができるんだ。だから、頑張ろう！」



### 国語

#### 中学校学習指導要領との関連

適切に表現し正確に理解する能力、及び伝え合う能力の育成

#### 活動例

- 日常生活の中の話題について対話や討論をする。
- 社会生活に必要な手紙を書く。
- 時間や場の条件に合わせてのスピーチを行う。



### 保健体育

#### 中学校学習指導要領との関連

生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力の育成(保健分野)  
公正に取り組み、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画するなどの意欲の育成(体育分野)

#### 活動例

- 健康な生活と疾病の予防について理解を深める。(保健分野)
- グループの意思決定に参画することに主体的に取り組む。(体育分野)

### 音楽

#### 中学校学習指導要領との関連

音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度の育成

#### 活動例

- 音楽と生活や社会とのかかわりを実感できるような指導を工夫する。
- 音楽が人々の暮らしとともにたくましく育ってきた文化であることに気付かせる。

### 道徳

#### 目標

道徳教育の目標は……  
道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度などの道徳性を養うこととする。  
道徳の時間においては……  
道徳的価値及びそれに基づいた人間としての生き方についての自覚を深め、道徳実践力を育成するものとする。

### 数学

#### 中学校学習指導要領との関連

数学のよさを実感し、活用して考えたり判断したりしようとする態度の育成

#### 活動例

- 数学を学習することの意義や、数学の必要性などを実感する機会を設定する。



### 教科の学習

- 自分の進路や将来設計への関心の高まり
- 主体的に学ぼうとする意欲の向上

キャリア発達の支援

### 外国語

#### 中学校学習指導要領との関連

積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成

#### 活動例

- 身近な言語の使用場面や言語の働きに配慮した言語活動を行う。

### 総合的な学習の時間

#### 目標

横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。

### 社会

#### 中学校学習指導要領との関連

個人と社会とのかかわりの理解を深め、現代社会についての見方や考え方の基礎を形成

#### 活動例

- 現代社会の持つ特色や現代社会をとらえる見方や考え方の基礎を理解させる。

### 美術

#### 中学校学習指導要領との関連

生活を美しく豊かにする美術の働きについての理解

#### 活動例

- 美術館・博物館等の施設や文化財などを積極的に活用する。
- 使いやすい形、使う人の気持ちを大切にしたい色、優しさのデザインを考える。

### 理科

#### 中学校学習指導要領との関連

科学技術の発展と人間生活とのかかわり

#### 活動例

- 理科で学習することが様々な職業と関係していることにつれる。
- 科学技術が日常生活や社会との関連、安全性の向上に役立っていることにつれる。



### 技術・家庭

#### 中学校学習指導要領との関連

技術と社会とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度の育成(技術分野)  
これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度の育成(家庭分野)

#### 活動例

- 工夫・創造の喜びを体験する中で、勤労観や職業観、協調する態度を身に付ける。(技術分野)
- 幼児と触れ合う活動などを通して、自分の成長を振り返り、自分と家族や家庭生活とのかかわりについて考える。(家庭分野)

### 特別活動

#### 目標

望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、人間としての生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う。